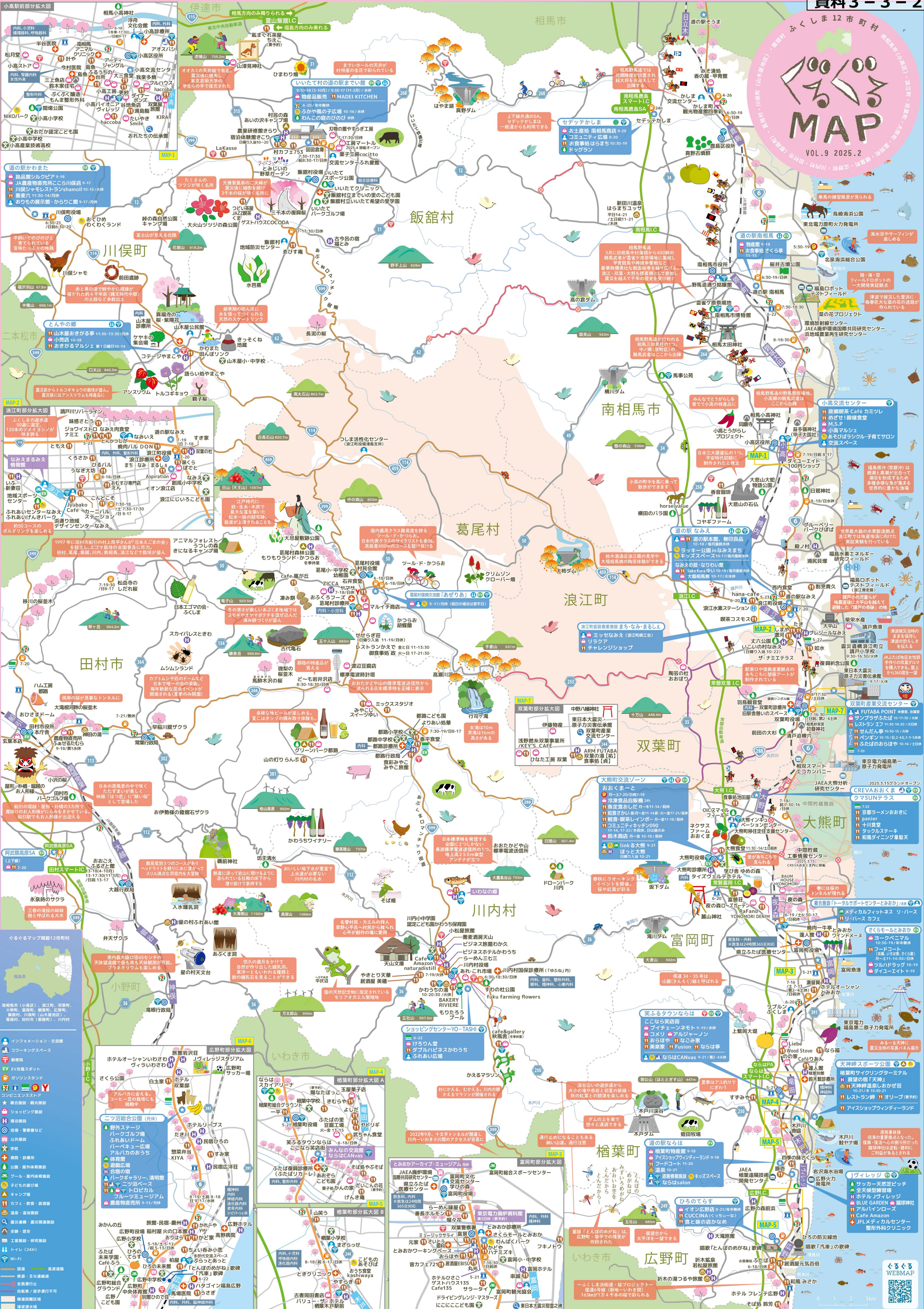




2011.3.11～2024

12市町村、復興の歩み

2011(平成23年)

- 3月11日 14:46 マグニチュード9.0の東日本大震災発生
19:03 東京電力福島第一原子力発電所
(以下:第一原発)原子力緊急事態宣言発令
21:23 政府は第一原発から半径3km圏内に避難指示
半径3km～10km圏内に屋内退避指示
- 3月12日 5:22 東京電力福島第二原子力発電所
(以下:第二原発)原子力緊急事態宣言発令
5:44 政府は第一原発から半径10km圏内に避難指示
7:45 政府は第二原発から半径3km圏内に避難指示、
半径3km～10km圏内に屋内退避指示
- 15:36 第一原発1号機で水素爆発
17:39 政府は第二原発から半径10km圏内に避難指示
18:25 政府は第一原発から半径20km圏内に避難指示
- 3月14日 11:01 第一原発第3号機で水素爆発
3月15日 06:14 第一原発第4号機で水素爆発
07:15 第二原発の原子炉が全て冷温停止に
11:00 第一原発から半径20～30km圏内の住民に屋内退避を指示
県教育委員会は相双地区の県立高校10校のサテライト方式を発表
(相馬農業高校は2011.11.14、原町高校は2012.4.1本校復帰)
- 4月22日 避難区域が「警戒区域」「計画的避難区域」
「緊急時避難準備区域」に指定される(地図1)
- 5月10日 警戒区域への一時立ち入りスタート
9月30日 緊急時避難準備区域の避難指示解除
(広野町は町長発令により避難指示継続。2012.3.31解除)
- 10月10日 JR常磐線 久ノ浜駅(いわき市)―広野駅(広野町)間で運行再開
12月26日 第二原発 原子力緊急事態宣言解除

2012(平成24年)

- 4月1日 警戒区域・計画的避難区域の再編が始まる(2013.8再編完了:地図2)
「帰還困難区域」「居住制限区」「避難指示解除準備区域」に区分される

2013(平成25年)

- 6月17日 帰還困難区域の特別通過交通スタート

2014(平成26年)

- 2月22日 常磐道 広野IC―常磐富岡IC再開通
6月1日 JR常磐線 広野駅―竜田駅(楡葉町)間の運行再開
9月15日 国道6号の帰還困難区域区間(富岡町本岡―浪江町高瀬)が、自動車に限り自由通行可能に

2015(平成27年)

- 3月1日 常磐道 常磐富岡IC―浪江IC開通(全線開通)
4月1日 県立ふたば未来学園(高校)開校
サテライト校を設けていた双葉郡内5校は募集停止
10月19日 JAEA 楡葉遠隔技術開発センターが楡葉町に開所

2016(平成28年)

- 2月1日 県立大野病院附属ふたば復興診療所(ふたばリカール)楡葉町に開所
7月12日 JR常磐線 原ノ町駅―小高駅(南相馬市)間の運行再開

2017(平成29年)

- 3月1日 県立高校の卒業式により、サテライト校を設けていた双葉郡内5校
(双葉高、双葉翔陽高、富岡高、浪江高、同高津島校)の全生徒が卒業し、休校となる
- 4月1日 JR常磐線 浪江駅―小高駅間の運行再開
- 4月1日 小高商業高校、小高工業高校が統合し、小高産業技術高校が開校
- 4月23日 JAEA 廣野国際共同研究センター国際共同研究棟が富岡町内に開所
特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定が始まる
- 9月15日 双葉町 11月10日 大熊町 12月22日 浪江町 2018年3月9日 富岡町
同4月20日 飯館村 5月11日 葛尾村
- 9月20日 国道114号線通行止め区間の解除(山木屋水境―浪江町室原)
10月21日 JR常磐線 竜田駅―富岡駅間の運行再開

2018(平成30年)

- 3月15日 JAEA 大熊分析・研究センターが大熊町に開所
4月23日 県立ふたば医療センター附属病院が診療開始(富岡町)
8月24日 特定廃棄物埋立情報館「リブルンくしま」オープン(富岡町)
11月30日 東京電力廃炉資料館オープン(富岡町)

2019(平成31年/令和元年)

- 1月31日 大熊町に「中間貯蔵工事情報センター」オープン
4月8日 県立ふたば未来学園が中高一貫校となる
4月20日 原発事故対応拠点となった「ヴィレッジ」が全面営業再開
4月20日 JR常磐線 ヲウレンジ駅営業

2020(令和2年)

- 特定復興再生拠点区域の一部で立入規制緩和、避難指示先行解除が始まる
- 3月4日 JR常磐線 双葉駅周辺とアクセス道路の避難指示解除
双葉町・特定復興再生拠点区域全域の立入規制緩和
- 3月5日 JR常磐線 大野駅周辺の避難指示解除、一部区域の立入規制緩和
- 3月7日 常磐道 常磐双葉ICの供用開始
福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)が開所(浪江町)
- 3月10日 JR常磐線 夜ノ森駅周辺とアクセス道路の避難指示解除
- 3月14日 JR常磐線 富岡駅―浪江駅間の運行再開(全線開通)
- 3月31日 福島ロボットテストフィールド全面開所(南相馬市、浪江町)
- 7月17日 双葉町復興シンボル軸(奥道井手長塚線)開通開通
- 9月20日 東日本大震災・原子力災害伝承館オープン/復興祈念公園一部供用開始

2021(令和3年)

- 3月8日 大熊町・特定復興再生拠点区域一部立入規制緩和
11月30日 大熊町・特定復興再生拠点区域(全域)立入規制緩和

2022(令和4年)

- 特定復興再生拠点区域の避難指示解除が始まる(地図3)
6月12日 葛尾村、6月30日 大熊町、8月30日 双葉町

2023(令和5年)

- 特定復興再生拠点区域の避難指示解除が続く(地図3)
- 3月31日 浪江町
- 4月1日 富岡町(夜の森、大宮の一部)、
飯館村(区域全域と区域外・長泥曲田公園)
- 11月30日 富岡町(小良ヶ浜、深谷の一部)
- 6月3日 「陶芸の杜おぼり」営業再開(浪江町)
「特定帰還居住区域復興再生計画」が認定される
- 9月29日 大熊町、双葉町
- 9月30日 ふくしま浜街道トイレ 沿岸ルート(新地町―いわき市まで218km)が開通

2024(令和6年)

- 「特定帰還居住区域復興再生計画」が認定される(地図4)
1月16日 浪江町、2月2日 大熊町(変更)、2月16日 富岡町、4月23日 双葉町(変更)
9月14日 浪江町
福島復興サイクルロードレース「ツール・ド・ふくしま2024」が開催



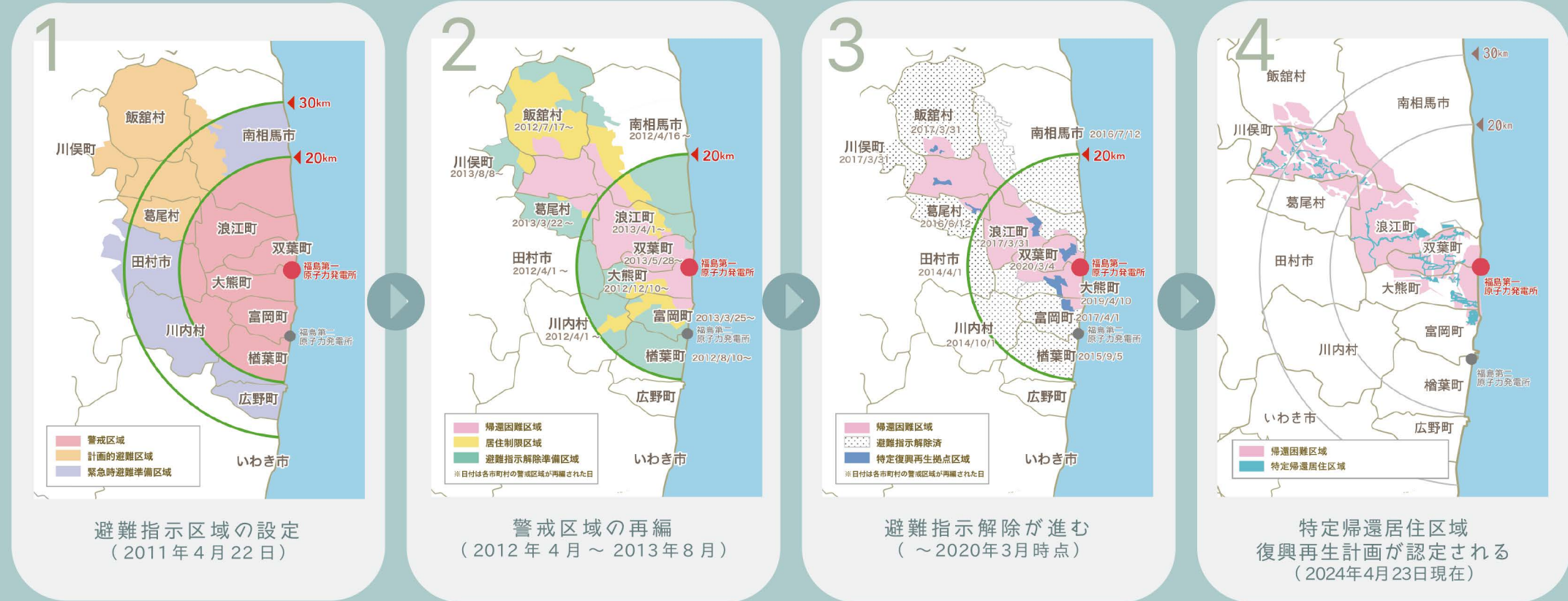
福島大学地域未来デザインセンター
相双地域支援サテライトについて

福島大学では、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興を支援するために被災地域と福島大学をつなぐ現地の拠点として、2012年6月、川内村に相双地域支援サテライトを開設しました。
現在は富岡町と浪江町にサテライトを設置し、被災12市町村を対象に地域の復興や教育環境整備の支援を行い、地域連携をサポートしています。

ぐるぐるMAPは、相双地域支援サテライトがコーディネートした双葉郡8町村の復興推進業務に携わる役職職員が定期開催していた「ふたばの明日を考える会」でのアイデアから2016年に生まれました。当初は双葉郡広域MAPとして発行していましたが、2022年発行の第7版からは川俣町、飯館村、田村市、南相馬市の情報を加えた12市町村広域MAPとして発行しています。

避難区域の変遷

- 1 福島第一原発からの距離と空間線量により避難指示区域が3区域に設定されました。
- 2 緊急時避難準備区域の解除後、警戒区域と計画的避難区域の再編が段階的に進められました。
- 3 除染やインフラ整備が進んで段階的に避難指示が解除され、2020.3.4双葉町の避難指示解除準備区域の解除により、帰還困難区域を除く全域が解除となりました。残る帰還困難区域も「特定復興再生拠点区域」の復興計画が国の認定を受け、復興・再生への道筋が示されました。
- 4 「特定復興再生拠点区域」が解除となり、拠点区域外でも住民の意向により帰還できるよう2023年6月に法改正されました。大熊町、双葉町、浪江町、富岡町では「特定帰還居住区域復興再生計画」が国の認定を受け、計画に基づき復興・再生への取り組みが進んでいます。(復興計画の詳細は、復興庁または各町のHPで確認してください)



※経済産業省ホームページに掲載の概念図に一部追記して作成

かわたまち
川俣町

川俣町には
おいしいものや
面白いものが
たくさんあるよ！
ぜひ遊びにきてね♪

川俣シャモ
川俣復興の象徴アンズリウム

富士山
北限の花壇から望む富士山
国内最大級の中南米音楽祭

- 2011.3.12- 双葉町などから原子力災害の避難者受け入れ(最大時約6,000人)
2011.4 山木屋地区が計画的避難区域に含まれることが公表される(11日)
山木屋の小中学校が川俣南小で再開(18日)
- 2013.5.31 近畿大の支援によりポリエステル煤地でアンズリウム実証栽培開始
2013.8.8 避難区域再編で、居住制限区域、避難指示解除準備区域が設定される
2016.1.31 綿の里やまやスケートリンク(田んぼリンク)再開
2017.3.31 山木屋地区避難指示解除(7月 山木屋地区にどんやの郷オープン)
2018.10 山木屋でアンズリウムの栽培開始(2019年 初出荷)

たむらし
田村市

田村市は豊かな
自然と文化と
おいしい食べ物に
恵まれているカブー

カブー
ゆいプリンッチ
White IPA
HOPJAPAN
クラフトビール

悠久の時を刻むあぶくま滝を探検
見事な溪谷美の行司ヶ滝

- 2011.3.12 20km圏内(都路町の一部)に避難指示が拡大。市判断で都路町全域へ避難指示
2011.3.15 30km圏内(常葉、船引の一部)へ屋内退避指示→自主避難呼びかけ
2011.9.30 常葉町・船引町の30km圏内と都路町の20km圏外の避難指示解除
2014.4.1 都路町20km圏内解除で市内全域が解除に。都路町の小中学校再開
2014.4.6 仮設商業施設「D o m o(ドモ)」古道店・岩井沢店オープン
2020.9 グリーンパーク都路内でホップジャパンがクラフトビール醸造開始
2020.12 都路町岩井沢地区に植物工場が操業開始
2023.4 おひさきドーム(田村市屋内こども遊び場)オープン

ふたばまち
双葉町

七転び八起きの精神で
復興を進める双葉町
これからの双葉町に
注目してくださいね！

双葉ダルマ
町の伝統、橋本せんたん太鼓
ダキシメテフタバ(タオル)

- 2011.3.11- 10km圏内避難指示を受け川俣町へ集団避難(12日)
→埼玉県加須市旧騎馬高校に避難、役場機能も移転(30日)
- 2013.6.17 役場機能をいわき市に移転(2014年～いわき市で小中学校開校)
- 2020.3 避難指示解除準備区域・双葉駅周辺、アクセス道路の避難指示解除
- 2020.10.1 双葉町産業交流センターオープン(8月～壁面アート始まる)
- 2022.8 役場新庁舎開所(27日)、特定復興再生拠点区域の避難指示解除(30日)
- 2024.11 旧三宮堂中医院診療所(国登録文化財)を改修し移住定住センターに
2025～ 双葉駅東地区に商業施設オープン予定

かわうちまち
川内村

緑豊かな川内村！
きれいな溪流には
いなが泳ぎ
ゆっくりとした時間を
過ごせるよ～

恵野心平が過ごした天山文庫
モリアオガエル繁殖地 平伏沼
ワイン
そば

- 2011.3.11- 村全域が30km圏内の屋内退避区域に(14日) 全村避難を決定し、郡山市のビッグバレットふくしまへ避難(16日)
- 2011.4 小中学校が郡山市内(河内小・連瀬中)で授業開始(13・14日)
- 2011.12.14 上川内水稲作付実験田2400㎡の玄米で放射性物質が検出限界以下
- 2012.1.31 帰村宣言(3月 川内村で役場再開、4月 小中学校が村内で再開)
- 2014.10.1 避難指示解除準備区域解除、居住制限区域が避難指示解除準備区域に
- 2016.4.30 第1回 川内の郷かえるマラソン開催
- 2016.6.14 避難指示解除準備区域が解除され、村全域の避難指示が解除に

いいたてむら
飯館村

飯館村は
「明日が待ち遠しくなる、
わくわくするふるさと」
を目指しているんだネ！

飯館産
黒毛和牛
なつはぜジャム

伊イタネちゃん
雄大な山々に囲まれたはやま湖
のびのび遊べる風のう広場

- 2011.3.15 村の一部が30km圏内の屋内退避区域に指定される
- 2011.3.19 511人が栃木県鹿沼市へ集団避難
- 2011.4.11 計画的避難区域となり全村避難へ(6月 福島市へ役場機能移転)
- 2011.4.21 川俣町内の校舎を借り、小中学校再開(2012年 仮設校舎へ)
- 2017.3.31 浪江地区を除き避難指示解除(8月 道の駅までい館オープン)
- 2018.4 小中学校が村内で開校(2020年4月 いいたて希望の里学園開校)
- 2022.5 飯館産黒毛和牛がA5等級評価獲得。飯館ブランド復活への一歩に
2023.5.1 長泥地区特定復興再生拠点と拠点外の一部(長泥曲田公園)避難指示解除

かつらおむら
葛尾村

村にかかわる
全ての人が家族し～♪
人のつながりが
あたたかい葛尾に
来てし～！

しみちゃん
ホープホワイト(胡蝶蘭)
深みもち

クリムゾンクローバーは緑肥にも
疾走！ツール・ド・かつらお

- 2011.3.14 全村民に避難勧告、612人が福島市のあづま総合運動公園体育館へ
- 2011.3.15 会津坂下町の公民館などへ(4月 会津坂下・柳津の旅館へ移動)
- 2011.6.26 三春町の応急仮設住宅へ入居開始(7月 役場機能も三春町へ)
- 2013.3.22 警戒区域再編で「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」が設定
- 2016.6.12 居住制限区域・避難指示解除準備区域の避難指示解除
- 2017.6.11 第1回 ツール・ド・かつらお開催
- 2018.4.6 2013年から三春町で開校していた葛尾小・中学校が村内で再開
- 2022.6.12 野行地区が特定復興再生拠点区域で初となる避難指示解除に

おおくままち
大熊町

大熊町の復興は
始まったばかり。
新生・大熊町に
遊びに来てね

まほちゃん
おおくまベリー(いちご)
町産米を
会津で頂く

伝統芸能 熊川稚児歌舞
四季所々風光明媚な坂下ダム

- 2011.3.11- 10km圏内避難指示を受け、田村市などへ分散避難(12～13日)
- 2011.4 会津坂下町へ二次避難(3～4日) 町役場会津若松出張所を開設(5日)
会津若松市河東町で小中学校開校(16日)
- 2019.4.10 大川原・中屋敷地区の避難指示解除(5月 大川原新庁舎で町役場再開)
- 2021.10.17 大熊町交流ゾーン(商業・交流・宿泊温泉施設)グランドオープン
- 2022.6.30 特定復興再生拠点区域の避難指示解除(駅周辺、下野上など約8.6km²)
- 2023.4 義務教育学校「学びあゆみの森」が会津若松市から町内へ
- 2025.3.15 大野駅西地区に商業施設、交流施設がグランドオープン

ならはまち
楡葉町

新しいチャレンジが
次々に生まれる町へ！
ばくはYouTuberをめざして
町の見どころを発信中！

ゆづ太郎
楡葉町の干し芋
楡葉の風

懐かし母の味マミーすいとん
温泉&キャンプ楽しむ天待峠

- 2011.3.11- いわき市への全町避難を指示、姉妹都市会津美里町へ集団避難(16日～)
- 2012.4.6 小中学校がいわき市内の仮校舎で再開(1月～ 災対本部いわき市に)
- 2012.8.10 警戒区域が避難指示解除準備区域に再編、町内全域の出入り自由に
ブイチェーンネモト本店が営業再開(旧警戒区域内のスーパー初)
- 2013.5.9 町全域の避難指示解除(2017年 南・北小、中学校が町内で再開)
- 2018.6.26 こころな笑店街オープン(7月 ならはCANvasオープン)
- 2022.7.12 岩沢海水浴場が12年ぶりに海開き
- 2023.4.22 大地とまちのタイムライン(旧・楡葉町歴史資料館)開館

みなみそうまし
南相馬市

伝統行事
「相馬野馬追」があり、
ロボット関連の取り組みも
進む、歴史と最先端技術が
融合するまち

MS5
Minamisoma5.0
小高一味
寿司はね

相馬野馬追
千年の歴史を継ぐ相馬野馬追
ロボットの開発実証拠点

- 2011.3.11- 甚大な津波被害が発生。第一原発から20km圏外へ集団避難開始(12日)
市内への物流が止まり、全市民に対し市外へ避難誘導(16日～)
- 2011.4.22 20km圏内の小高区全域と原町区の一部が警戒区域に設定される。
鹿島区の学校などで全小中学校再開(10月～原町区内で順次再開)
- 2011.7.23-25 規模を縮小し「東日本大震災復興 相馬三社野馬追」を開催(2012年から通常開催)
- 2015.4.25 常磐自動車道に南相馬鹿島SA「セデッチかしま」開所
- 2016.7.12 帰還困難区域を除き避難指示解除(2017年～小高区内学校再開)
- 2019.7.20 北泉海水浴場で震災後初めての海開き・サーフィン大会開催

なみえまち
浪江町

うまいもんが
増えたよ！お花もキレイ♪
ワクワクいっぱい
の浪江町遊びに
おいでね～！

うげん
郷郷露
大郷相馬焼

津波の骨戚を伝える請戸小学校
鮮活抜群美味！請戸の復活

- 2011.3.11- 10km圏内避難指示を受け、町内・津島地区へ避難(12日)
20km圏外も含め二本松市へ全町避難を決定(15日)
- 2011.5.31 二本松市内の旧校舎(下川崎小・針道小)で中学校開校
- 2017.3.31 帰還困難区域を除く避難指示解除(2月 請戸漁港に漁船帰港)
- 2018.4 町内にて、なみえ創生小・中学校開校、浪江にいくこども園開園
- 2021.3.20 道の駅なみえグランドオープン、鈴木酒造「浪江蔵」で酒造り開始
- 2021.10.24 震災遺構浪江町立請戸小学校が開館
- 2023.3.31 特定復興再生拠点区域(室原、永森、津島)の避難指示解除

とみおかまち
富岡町

夜の森の桜の道を
全部歩けるように
なったっぴ
桜の木で
待ってるっぴ

とみっぴ
パッションフルーツ
富岡魂

全長22キロの桜並木通
ぶどう畑と富岡漁港と太平洋

- 2011.3.11- 10km圏内避難指示を受け、川内村へ全町避難を決定
- 2011.3.16 川内村も全村避難となり、ビッグバレットふくしまなどへ避難
- 2011.4.14 ビッグバレット内にて役場出張所開設(9月 小中学校三春校開校)
- 2017.4.1 帰還困難区域を除き避難指示解除(2018年 町内で小中学校再開)
- 2019.7.26 8年ぶりに富岡漁港が再開し、福島県内10カ所の漁港全てが開港
- 2020.3.10 夜ノ森駅周辺の避難指示先行解除、夜の森の桜の一部通行可能に
- 2022.1.26 特定復興再生拠点区域の立入制限緩和(2023年春 避難指示解除予定)
- 2023.4.1 特定復興再生拠点区域避難指示解除。桜並木が全て通行可能となる

ひろのまち
広野町

幼児教育から高校まで
教育施設が集まる
「教育の丘」。
広野町は安心して
子育てができるまち

ひろのまち
バナナ「鈴蘭」
みかん果汁100%ジュース

みかんの花咲く笑いの丘
等平とんぼの眼鏡の情景

- 2011.3.11- 自主避難呼びかけ(12日) 全町民へ避難指示(13日) 小野町・埼玉県三郷市
などに町避難所を指定。小野町に役場機能移転(15日)
- 2011.4.15 役場機能をいわき市へ(22日) 町全域が緊急時避難準備区域に)
- 2011.8.25 中央台南小で広野小再開(10月1日 湯本二中で広野小再開)
- 2012.3 役場機能が本来の庁舎へ(1日) 町長発令の避難指示解除(31日)
- 2012.8.27 広野小・中学校、幼稚園、保育所が町内で再開
- 2012.10.14 2年ぶりに「ひろの童謡まつり」開催
- 2016.3.5 公設商業施設「ひろのてらす」オープン